2022 年度　教員の自己点検・自己評価報告書

所属学部　学科	職位	氏　　名
経営学部 国際ビジネス学科	教授	竹越 美奈子
最終学歴	学　位	専門分野
東京都立大学大学院人文科学研究科修士課程	修士 （文学）	中国語学

Ⅰ　教育活動

○理念・目標・方針・計画（方法）

（理念）

学生一人一人の個性を尊重する

（目標）

学生一人一人の個性を認め、長所を伸ばす教育活動

（方針）

基礎演習の学生に対してていねいな個人面談を複数回行う

（計画）

4 月−５月基礎演習学生に対する第 1 回個人面談　6 月−7 月第 2 回個人面談

10 月教育懇談会　他

○担当科目（前期・後期）

（前期）

中国語綜合Ⅰ、中国語オーラルコミュニケーションⅠ、中国語ライティング、基礎演習Ⅰ

（後期）

中国語綜合Ⅱ、中国語オーラルコミュニケーションⅡ、現代中国論、基礎演習Ⅱ

○教育方法の実践　　外国語の授業では、学生一人一人に対して発音指導を行った

○作成した教科書・教材　　現代中国論講義用スライド

○自己評価　　おおむね計画を達成できた

Ⅱ　研究活動

○研究課題

外来語の受容：サンスクリット語から中国語・日本語へ

○目標・計画

（目標）

仏教用語の多くはサンスクリット語から中国語を経由して日本語に受容された。それに対して現代のヨーガの用語はサンスクリット語から直接受け入れたものが多い。それぞれの場合の違いを比較検討する。

（計画）

初年度の今年度は、まずサンスクリット語の学習と資料の収集をする。4 月−９月　東京大学仏教青年会「サンスクリット初級」講座受講　他

○2015 年 4 月から 2023 年 3 月の研究業績（特許等を含む）

（著書）

（学術論文）

・竹越美奈子(2018)「近代粤語遇攝の二重母音化と早期粤語資料」単著、『東邦学誌』第 47 巻第

2 号、pp.57-77.
・竹越美奈子(2017)「近代粤語遇效攝一等字の変遷」単著、『東邦学誌』第 46 巻第 2 号、pp.1-25.
・Minako Takekoshi(2017) Cantonese as Learned by Missionaries in the 19th Century: Language Variation in *Easy Lessons in Chinese*. *Current Research in Chinese Linguistics.* Vol.97.1: 273-284.【査読あり】
・竹越美奈子(2015)「早期粤語口語中的語体」単著、2015 年 3 月、『南開語言学刊』（北京：商務印書館）pp.86-95.

（学会発表）
・竹越美奈子(2023)「粤語方言字の変遷」2023 年 3 月 29 日、第 19 回漢語方言研究会（Zoom ミーティング）
・竹越美奈子(2023)「粤语汉字和日语国字对比研究」2023 年 3 月 8 日、International Conference on Cantonese Writing from an Interdisciplinary Perspective（香港中文大学、ハイブリッド形式による国際会議、リモート参加）
・竹越美奈子(2021)「福屋正男 1923《日粤會話》簡介」2021 年 3 月 27 日、Workshop on Early Cantonese （Zoom ミーティング）
・竹越美奈子(2021)「福屋正男 1923『日粤會話』について」2021 年 3 月 26 日、第 15 回漢語方言研究会（Zoom ミーティング）
・竹越美奈子(2019)「歴史資料と言語地図」2019 年 8 月 27 日、第 13 回漢語方言研究会（近畿大学東京センター）
・竹越美奈子(2019)「十九世紀粤語英語借詞的高元音裂化」2019 年 5 月 11 日、第 27 回国際中国語言学会(International association of Chinese Linguistics)（神戸市外国語大学）
・竹越美奈子(2019)「19 世紀粤語英語借詞の音韻変化」2019 年 3 月 26 日、第 12 回漢語方言研究会（近畿大学東京センター）
・竹越美奈子(2018)「近代粤語遇攝の二重母音化と早期粤語資料」2018 年 8 月 27 日、第 11 回漢語方言研究会（近畿大学東京センター）
・竹越美奈子(2018)「19 世紀粤語高母音の二重母音化と香港の地図」2018 年 3 月 18 日、第 10 回漢語方言研究会（神戸山手大学）
・Minako TAKEKOSHI(2017)「早期粤語遇攝一等字的裂化」2017 年 12 月 8 日、第 22 回国際粤方言研討会（香港教育大学）【匿名審査あり】
・竹越美奈子(2016)「粤語複元音化的歴史和早期粤語文献」2016 年 12 月 24 日、中古近代漢語ワークショップ（中国浙江大学）
・竹越美奈子(2016)「Diphthongization as part of a systematic sound shift in Cantonese: With special reference to early Cantonese materials in the 19th century」2016 年 12 月 13 日、第２１回国際粤方言学会 （マカオ理工学院）【匿名審査あり】
・竹越美奈子(2016)「近代粤語高母音の二重母音化――早期粤語資料編者の観察から」、第５回漢語方言研究会　2016 年 8 月 30 日
・竹越美奈子(2015)「十九世紀広東知識分子的語言生活」2015 年 12 月 12 日、第 20 回国際粤方言研討会（香港科技大学）【匿名審査あり】
・TAKEKOSHI, Minako(2015)「Final Interrogative Particles NE and A in Cantonese Primer: A Study of Early Cantonese Grammar」2015 年 9 月 25 日、第 9 回ヨーロッパ漢語語言学学会（ドイツ：シュツットガルト大学）【匿名審査あり】

（特許）
（その他）

○科学研究費補助金等への申請状況、交付状況（学内外）

○所属学会

日本中国語学会、日本言語学会、IACL(International Association of Chinese Linguistics,国際中国語学会)

○自己評価
おおむね当初の目標を達成できた。

Ⅲ　大学運営
○目標・計画
（目標）
入試問題作成委員長として、ミスなく入試問題を作成し、実施する。

（計画）
決められた手順をおろそかにせず、守る。4 月-５月　作成担当者の依頼と決定　8 月-9 月　年内実施入試問題の確定　他

○学内委員等
入試問題作成委員会

○自己評価
入試問題作成委員長として、大過なく入試を終えることができた

Ⅳ　社会貢献
○目標・計画
（目標）
大学外でのセミナー・講習などを積極的に行なう。
（計画）
7 月　第 33 回愛知サマーセミナーへの講師としての参加　他

○学会活動等

○地域連携・社会貢献等

○自己評価
第 33 回愛知サマーセミナーへの講師としての参加（7 月）、あおぞら高等学校岡崎キャンパスでの出張講義（2 月）など、学外での講義を行った。

Ⅴ　その他の特記事項（学外研究、受賞歴、国際学術交流、自己研鑽等）
外国語の教員として自身の外国語能力の向上、学生と身近に接する大学教員として対人コミュニケーション、カウンセリング能力等の向上等

Ⅵ　総括
コロナ禍という制限の中で、できる範囲でおおむね当初の目標を達成できた。

以　上